

かながわの交通

2022
10月号

交通安全年間スローガン受賞作品(文部科学大臣賞)
～一般部門(B)～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

あぶないよ 青でもきちゃんと みぎひだり



秋の全国交通安全運動 出発式 (横須賀交通安全協会)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和4年9月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和4年		15,277	76	17,640
令和3年		15,501	96	17,943
増減数		-224	-20	-303
増減率		-1.4%	-20.8%	-1.7%

	総数	男	女
県人口	9,234,324	4,579,405	4,654,919
免許人口	5,651,695	3,208,995	2,442,700
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和4年9月1日、免許人口は令和4年8月末現在)

秋の全国交通安全運動の活動結果

秋の全国交通安全運動が9月21日(水)から30日(金)までの10日間行われました。

各地区交通安全協会では交通安全運動期間中、地域の実情を踏まえて、地元警察署等と連携し交通安全キャンペーンや街角アドバイスをはじめ、9月30日(金)「交通事故死ゼロを目指す日」の取組などを積極的に実施して運動の周知を図り、多発する二輪車や高齢者の関係する交通死亡事故の抑止を呼びかけました。

旭警察署・旭交通安全協会では、映画「シン・ウルトラマン」監督の樋口真嗣さんを旭警察署一日警察署長に迎え交通安全イベント・トークショーが行われました。

また、麻生警察署・麻生交通安全協会でも一日警察署長としてフジテレビお天気キャスターの谷尻 萌さんを迎え、交通安全キャンペーンを実施するなど各地区とも活発なキャンペーン活動が実施されました。

1 交通事故発生概況

運動期間中の人身交通事故は、発生件数605件、死者数2人、負傷者数692人であり、発生件数及び負傷者数は、前年の同じ時期と比べ増加しましたが、死者数は減少しました。

2 期間中の交通死亡事故

(1) 9月26日(月)、横浜市南区宮元町(横浜鎌倉線)

乗用自動車と乗用自動車と衝突し、歩道に佇立していた歩行者(死亡者、24歳、男性)と衝突

(2) 9月28日(水)、川崎市麻生区岡上(真光寺長津田線)

普通乗用車が歩行者(死亡者、37歳、女性)に衝突

◇ 期間中の県下の交通事故発生概況

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中累計	605	2	692
前年同期比	+35	- 5	+38

～ 各地区の活動状況 ～



(旭交通安全協会)



(麻生交通安全協会)



(金沢交通安全協会)



(川崎臨港交通安全協会)



(戸部交通安全協会)



(港北交通安全協会)



(宮前交通安全協会)



(田浦交通安全協会)

金沢区安全・安心まちづくり推進協議会に反射材を贈呈

9月15日公益財団法人神奈川県交通安全協会から金沢区安全・安心まちづくり推進協議会に反射材を贈呈しました。

金沢区安全・安心まちづくり推進協議会では、春・夏・秋・年末の各季の運動を通じて、積極的に各種交通安全キャンペーンなどを実施され、新型コロナウイルスまん延防止が叫ばれ、各種のキャンペーン等が中止を余儀なくされるなか、万全の感染防止対策を講じて「第17回金沢区自転車マナーアップ小学生大会」を開催されるなど、地域の交通事故防止に貢献されました。

横井会長から「これからも今まで通りの啓発活動が続けて行きます。」また、永井区長からは、「早速、次のキャンペーンから活用させていただきます。」とのお礼のお言葉をいただきました。



贈呈後の記念撮影

(向かって左から 永井金沢区長、横井協議会会長、長澤専務理事)

令和4年度
関東管区警察局長 連名表彰
関東交通安全協会連合会会長
～4団体、31名が受賞～

～～～《受賞おめでとうございます》～～～

交通安全功労団体表彰

この表彰は、事業主、運行管理者が一体となって運行管理活動を推進し、交通事故防止に顕著な功績があった事業所に対して贈られます(敬称略)。

- 城南信用金庫 海老名支店
代表 亀井 徹 (海老名市)
- 厚木警察署管内交通安全協会 睦合南支部
代表 永野 保夫 (厚木警察署管内)
- 一般社団法人神奈川県警備業協会 横浜中央支部
代表 小相澤 良一 (加賀町)
- 神奈川中央交通株式会社 横浜営業所
代表 秋元 洋介 (栄)

優良運転者表彰

この表彰は、交通法令をよく守り、常に安全運転に心がけ永年無事故の運転者で人格、職見ともに優れ、他の運転者の模範として安全運転の推進に多大の功績があると認められる方に贈られます(敬称略)。

時田 巖一郎 (磯 子)	落合 昭男 (瀬 谷)	内藤 邦夫 (小田原)
本間 まち子 (金 沢)	小泉 達 (高 津)	阿部 美代子 (小田原)
内山 功 (南)	嶋崎 雅子 (高 津)	菊地原喜久子 (厚 木)
野沢 政雄 (神奈川)	名古屋徳藏 (宮 前)	二見 完治 (厚 木)
木川 正洋 (旭)	内山 克彦 (横須賀)	築地 隆夫 (海老名市)
飯田 泰行 (港 南)	高山 洋一 (横須賀)	石井 瑞穂 (相模原)
森 雅子 (港 北)	中林 宗治 (三浦市)	中島 和則 (相模原南)
安並 憲 (青 葉)	角田 晃 (葉山町)	大江 文夫 (相模原北)
竹鼻 正美 (戸 塚)	牧田 紘一 (藤沢市)	榎本 秀秋 (津久井)
田中 省三 (栄)	清水トヨ子 (藤沢北)	
沢村 真一 (瀬 谷)	矢野 克彦 (茅ヶ崎)	

～引き続きの安全運転をお願いします～

違法駐車追放運動

～首都圏放置自転車クリーンキャンペーン～



- **趣 旨** 自転車・バイク(以下自転車等)の利用増大に伴い、一部の駅周辺等では大量かつ無秩序に自転車が放置され、これに起因して道路環境の悪化や交通事故・渋滞等が発生している現状にあります。
そこで、自転車等の放置を防止するため、関係機関・団体が相互に連携を密にし、放置自転車追放のためのキャンペーンを展開します。
- **期 間** 令和4年10月1日(土)から10月31日(月)まで
(10月22日(土)から31日(月)の10日間を**強調期間**とする)
- **標 語** 自転車の 代わりに置こう 思いやり
- **推進事項** 関係機関・団体と連携を密にして、自転車利用者の交通ルールの遵守とマナー向上を図るための広報啓発活動を推進します。

第45回「自動車なんでも相談所」の開設

自動車の使用上及び利用上で困っていること、アドバイスの欲しいことなど自動車全般について、何でも相談してください。相談は無料です。

相談日時 11月9日(水)・10日(木) 両日午前11時～午後5時

相談場所 横浜駅東口「新都市プラザ」(そごう地下2階正面入口前)

相談内容 ①自動車の売買に関すること ②自動車の故障、整備・車検に関すること ③バス、タクシー利用上の意見・要望 ④荷物の運送や引越の相談 ⑤交通事故や自動車の税金に関すること

相談員 共催・後援団体の担当者等

主催 一般社団法人神奈川県自動車会議所

共催 公益財団法人神奈川県交通安全協会等

後援 関東運輸局神奈川運輸支局等



交通事故の悲劇に学ぶ 107

●「悪夢であってほしい」A・K大型トレーラー運転手(50代)

私は、取り返しのつかない重大事故を起こしてしまいました。その日は前日トレーラーに積み込んだ荷物を3か所の目的地まで運び、帰りに新たな荷物を積み込んで帰ることになっていました。会社を出発して最後の荷物をお客様に届けるまでの運転距離は片道250kmになります。

その日の朝は体調に変化無く、いつものように運転を始め午前6時過ぎには最初の目的地に到着しました。

朝が早かったので、荷物を降ろしてもらうまでの待機時間に仮眠を取りました。午前9時前には、荷物を降ろす作業が終了したので、トレーラーの台車の道具を片付け次の現場に向かいました。次の現場は、ここから約150km離れた所で、先に会社の同僚が空車で向かっていたので、私も急がなければと焦っていました。

運転を始めて30分位すると、急におなか痛くなりだし、次第に気分も悪くなってきました。

そこで最寄りの特約店で燃料を入れる際に、少し休憩を取って様子を見ようかと思いましたが、先着している同僚を待たせるのも悪いと思いつき、給油を済ませてから直ぐに出発しました。

自分の体調を考えず出発したのは、最悪の場合途中に道の駅があれば、そこで休憩すればよいと思ったからです。

次の積み込み地では、重機(ユンボ)を積み込む事になっていました。そのため、しばらく走り、自動車専用道路に入る手前まで来たところで、今からいく現場のピンポイントをナビゲーションで確認しながら同僚と携帯電話で会話を始めました。勿論、危険ですから片手運転はしていません。イヤホンを通しての会話で、前方をしっかりと見て運転していました。

同僚には体調があまり芳しくないで少し遅れることを告げた後も、気を紛らわすため、同僚と話をしながら運転をしていました。

自動車専用道路に入ってから、最高法定速度が70kmの所を約80kmの速度で進行していました。

この専用道路は、片側2車線道路で分離帯があります。そのままの速度で直進すると道路左側に道路工事の看板が目に見え込んできました。そして、私が最後に見た看板には「500m先工事中、2車線のうち1車線絞り込み、右に寄れ」とありました。

その時の道路状況は交通量が少なく見通しが良い状況でした。

私は、前方の道路工事の電光掲示板を目視してから、走行車線から追い越し車線に移る際に、右のサイドミラーで後方を確認して、さらに後方を振り返って安全を確認しました。その途端、急に目の前が真っ暗になり、気がついたら私は病院のベッドの上にはいました。

しばらく経って、「事故当時の様子を聞きたい」と刑事さんが尋ねてきましたが、私は「何がどうして、どうなったのか、まったく訳が分からない」と答えました。刑事さんには「君はトレーラーで工事の作業現場に突っ込み、2人の尊い命を奪い、もう1人には軽傷を負わせた」と告げられました。

その話を聞いた途端、私の頭は真っ白になり「私の

人生はもう終わった」と思いました。

事故後、私は1か月以上も入院して色々な検査を受けることとなりました。心臓にカテーテルを送って行う心臓検査では「狭心症の疑いがある」という意外な事もわかりました。しかし、当時の私は自分の身体のことなど、どうなっても構わない、それより被害者の御遺族にどのように自分の起こした事故を説明するか思い悩んでいました。

そして、どう伝えればいいのか分からないまま病院を退院した直後に、私は逮捕され、警察署での取り調べが始まり、現場検証も行われました。

刑事裁判が始まり一審の判決が出るまで約2年もの歳月が経ちました。

そして、私には自動車運転過失致死傷罪、禁固2年10か月の判決が下されました。会社の社長と会社の顧問弁護士からは控訴しなさいと言われましたが、私はこのまま刑務所に服役したほうがよいと思っていました。

なぜならば、受刑生活の中で自分自身を振り返り、被害者やその御遺族に対する感謝の気持ちを深めるとともに、心より反省して罪を償いたいと思ったからです。

しかし、この事故で会社に多大な迷惑を掛けた私は会社の説得に応じ控訴することにしました。

控訴から約2年後、最高裁で却下され、保釈の身から刑務所に服役することになりました。現在、私は禁固2年10か月の刑に服しています。

弁護士には、何度も御遺族の方に手紙を出したいと相談しましたが、御遺族側の弁護士を通して「今は、家に来て欲しくない、手紙も受け取りたくありません。」との回答がありました。

会社の社長からも、お線香を上げさせて欲しいと御遺族のもとに伺ったが叶わなかったと連絡がありました。

服役するまでの5年間、被害者の命日には欠かさず事件現場に赴き献花をして、被害者のご冥福をお祈りしました。

服役中の今はそれも叶わず、何も出来ません。

せめて、御遺族の感情を押し量りながら、これから本当の償いを背負っていかねばと思っています。

私は、事件を起こしたことで、会社を解雇されましたが、私の妻は夫婦そろって被害者に償ってほしいと言ってくれました。

私が起こしたのは交通事故ではなく、被害者や御遺族にとっては犯罪被害に遭ったようなものです。そのため強い怒りの感情を持たれていると思います。

愛する人を奪われ、平穏な生活を無茶苦茶にされたのですから私に怒りと憎しみを持つのは当然だと思います。

私は取り返しのつかない重大事件を起こしたと心から反省しています。そして、被害者やその御遺族に対して感謝の気持ちを生涯持ち続けたいと思っています。

最後に、二度と私と同じ過ちが繰り返されないことを心から願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第56集)」から～

この人

198



鈴木 貴市さん
相模原南交通安全協会 会長

かながわの交通へは、二度目の投稿となります。

前回、平成29年に書いた通り、相模原南交通安全協会は神奈川県内3番目の政令都市相模原市南区にある交通安全協会です。

前回は、会長に就任直後で右も左も分からない状態でしたが、会長職6年目になると落ち着いてきて周囲が見られる余裕が出てきました。

我々協会役員は、常勤ではありませんのでなるべく事務所に行くようにしておりますが、週一回程度の顔出しでなんとか了承していただいております。

協会の職員は男性一人で、総てに頑張っている太めの事務長と、細やかな気遣いの出来る笑顔の素敵な六人の女性職員で常に明るく受け付け業務を行っており、和やかな内にも厳しさを持つ協会事務所となっております。

相模原市南区は、地形が平坦で国道16号線が南北に通っており、学校も多く大学・高校八校、日産その他の工場も点在し自転車の通勤通学が多く、神奈川県で自転車事故多発地区12年の連続指定と言う不名誉な記録を持っており、現在も進行中です。

警察・相模原市役所・相模原南交通安全協会共に事故撲滅に頑張っておりますが意図する減少方向には進んでくれません。それに、ここ3年コロナ禍の影響により、キャンペーン・啓発活動も思うように出来ず休止状態が続いております。

協会で今一番の問題点は、協会役員の高齢化です、若返りを急務として行っていかなければ交通安全活動が総てに支障が出てしまいます。地域自治会に役員を推薦をお願いしても自治会そのものに役員がいない状態で地域のボランティア意識が希薄化しています。

このまま放置しますと、協会の高齢化がますます進んでしまい、安全協会全体の早急に対処しなければならない問題だと思えます。また、長期的に見て協会の建物の老朽化、警察署も同じ建て替

え時期が来ています。相模原南警察署は南区の北の端に位置します。区役所のある区の中心地に移転する運動を10年前より始め住民の要望書を取り纏め・市議会・県議会に要請と交通安全活動以外にも職場環境改革に働き掛けを行っております。それに伴い安全協会の新設も浮上し用地確保が今、大変な問題となっております。

さらには、安全協会自体のデジタル化、免許書き換え事務の簡略化、高齢者の免許返納と安全協会がどの方向に進むのか、全く見当もつきません。落ち着いた事務運営交通安全活動が何時になったら出来るようになるのか何も出来ない、何も決められない今、大勢の役員を抱えた組織が重く感じられます。

最後に、私事ですが、因らずも私が令和4年1月に交通栄誉賞緑十字金賞・警察庁長官・全日本交通安全協会会長賞の受章の栄に浴しました。

これも一重に多くの方と出会い私を支えて下さった皆様のお陰と心より感謝を致しております。

本来であれば受賞式が有りお祝いをしてほしい所ですがコロナ禍の中、受賞式もなく祝宴も断念することとなりました。併せて自分の本業の方で令和3年10月生活衛生功労で厚生労働大臣賞も頂き二重の慶びを得ましたがコロナ禍の為、総てのお祝いが無くなりました。

これからも微力ながら交通事故撲滅のため助力を日々重ねていきたいと思っておりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。最後までお読みいただきありがとうございます。

(取材協力：相模原南交通安全協会)

こんにちは「麻生交通安全協会」です

麻生交通安全協会は麻生警察署創設と共に、昭和62年4月に多摩交通安全協会から分離独立し、本年4月に創立35周年を迎えました。

麻生区は川崎市北西部に位置しており、区内を小田急線が通り東京都庁のある新宿への便が良いため東京のベッドタウンとしての発展が続いており、他の都県からの転入者が多く東京志向が強い、いわゆる「神奈川都民」と言われる人達が多く住む新興住宅地域ですので、地元の交通安全協会に対する住民の意識が希薄なのかなと感じられる部分があります。

よって今後、何らかの効果的な方策を会長中心に検討して参りたいと思っております。

当協会の活動内容は各季の交通安全運動や交通安全全日における街頭指導等は勿論のこと、年間活動の中で最も大きな行事として真言宗麻生不動院・だるま市があります。昨年はコロナ感染症拡大防止のため中止となりましたが、毎年1月28日に関東近郊のだるま市としては最後に開催され、開催日が平日の時でも6万人余の人出があり、土・日・祝祭日に当たる時には10万人余の人出があることから、会長以下協会役員、交通

指導員全員が出動し、麻生警察署員及び機動隊員とともに、交通整理・誘導に活動しています。開催日当日は、300店舗を



超える数の露天商が不動院周辺の狭い道路に店舗を設置し歩行も困難になるくらいの賑わいです。周辺道路は店舗の設置から撤収までの間、通行止めが続きますので、交通整理・誘導にかかる負担は相当なもので、役員一同張り切って活動しております。

麻生区内における昨年の交通事故発生状況は、発生件数・負傷者数ともに前年に比べ10%余り減少はしているものの、二輪車・自転車そして高齢者が絡んだ事故が人身事故全体の35%を占めていることから、これらの情勢に対処するため警察署のご指導をいただくとともに、関係機関・団体と連携しながら今後の交通安全活動を推進してまいります。

(東記)

地区交通安全協会の活動紹介



栄 栄区役所における夏の事故防止キャンペーン



戸部 岡野町における夏の事故防止キャンペーン



大和綾瀬 大和駅における夏の事故防止キャンペーン



葉山町 葉山一色海岸における夏の事故防止キャンペーン



金沢 京急富岡駅前における夏の事故防止キャンペーン



泉 緑園都市駅前における夏の事故防止キャンペーン



津久井 宮ヶ瀬における二輪車事故防止キャンペーン



緑 十日市場駅における夏の事故防止キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- (株)KANTO モータースクール横浜西口校 ————— 横浜市西区南軽井沢
- 神奈川福祉事業組合 ————— 横浜市神奈川区鶴屋町
- (株)武田商店 ————— 東京都渋谷区恵比寿西

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 自転車安全教育指導員講習会 ————— 11月11日(金) 辻堂交通公園
- 自転車安全教育推進委員会・二輪車安全運転推進委員会 ——— 11月18日(金) 県協会会館
- 二輪車安全運転講習会 ————— 11月19日(土) 運転免許センター